

《環境民俗学》

图书基本信息

书名：《環境民俗学》

13位ISBN编号：9784812208475

出版时间：2008-10

作者：山泰幸,古川彰,川田牧人

页数：325

版权说明：本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介以及在线试读，请支持正版图书。

更多资源请访问：www.tushu000.com

《環境民俗学》

内容概要

グローバル化に翻弄され激しく変化する環境。かつて急激な近代化がもたらす負の課題に応えようとした民俗学のまなざしが、いまこそ求められている。本書は、自然環境という切り口で民俗学研究をあらたに展開しようとする試みである。あるいは、人と自然の相互関係を考えるフィールド科学の共有地としての民俗学という立ち位置から、環境という現代的課題に取り組む方向性を模索する試みであるともいえる。

《環境民俗学》

作者简介

山泰幸

関西学院大学人間福祉学部准教授。東アジアをフィールドに、民俗文化の保存や活用を通じた地域活性化などに関心をもっている

川田牧人

中京大学現代社会学部教授

古川彰

関西学院大学大学院社会学研究科教授

《環境民俗学》

書籍目録

いま、なぜ環境民俗学なのか？

第1部 知識（フィールドでアニミズムとつきあうために 民俗的自然認識論

かかわり合うことの悦び 環境知識論

山に火をいれること 環境思想としての礼節 ほか）

第2部 資源（環境民俗学は所有と利用をどう考えるか？ 資源所有論

水産資源をめぐる平等と葛藤 資源慣行論

棚田に生きる人々と水とのつきあい方 資源管理論 ほか）

第3部 言葉（民話の環境民俗学 猿退治伝説と猿害問題のあいだ 共同体生成論

「野生」の志向 天然記念物「奈良のシカ」をめぐる運動の歴史 環境言説史

生活改善と「村」の生活変容 民俗欲望論 ほか）

環境民俗学のこれから / これからの（ための）環境民俗学

版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问：www.tushu000.com